
エキセントリックお見合い

B J

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

エキセントリックお見合い

【Nコード】

N8228B

【作者名】

B J

【あらすじ】

ある晴れた日、一組の男女がお見合いをしていた。次第に惹かれ合ってゆく二人だが意外な展開に本人達も予想だにできなかったアナザー・ワールドへと突き進んでゆく

お見合い

それは中間に第三者が入りおのおのの素性が分かった上でコミュニケーションをとる、それで意気投合すれば結婚の道筋としてお付き合いを始める、ていうか、即結婚という離れ技も十分にあり得る言うなれば即席的で人工的な出会いであり、恋愛という意味合いのストーリーは稀薄だけれどもある意味結婚という目的意識を明確に持った人間ということとで別の角度から見るとそれは極めて積極的でもあり合理的でもある男と女の二つの出会いの形なのである

今日もとある所で将来結婚するかもしれない一組の男女が運命の出会いをしていた

「あああーはっはっはっ！」

「おーほっほっほっ・・・」

「今日は何だか良い予感がしますなっはっはっはっ！」

「おっしやる通り！本当にお似合いのお二人だことっほっほっほっ！」

「ま、ここから先は若い者同士に任せることにして、我々邪魔者は席を外すことにしましょうかあー！はっはっはっ！」

「そうでございますわ、ささ、退散退散！のっほっほっほっ！」

.....そして二人つきりTIME！.....

「.....」

「.....」

「.....」

「.....」

「・・・な、何から話をしましょう?・・・」

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

「お休みの日なんかは何をなさってるんですか?」

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

「・・・そうですよね・・・急に二人つきりにさてもですねえ・・・何を話してよいのやら・・・」

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

「・・・学生時代とかは何かスポーツとかなさってたんですか?」

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

「・・・もしもし?・・・」

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

「もしもし!」

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

「村上さあーん!」

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

「(こやつ寝とるな!)」

床の間に飾ってある金属バットで男の脳天めがけ

「ムンツ!!」

バシッ!

「アイシヨオオツ!!」

女が振り下ろす金属バットを脳天寸前で両手で挟み、左横にねじ伏せると同時に美佐子の後頭部に村上はカミソリのような延髄蹴りをぶちかます!!

美佐子は4回転半しながら3メートル先の見事な赤富士のフスマを突き破り、廊下の壁にドガツッ!!とぶち当たるとスローモーションでズルズルウウウ・・・と、廊下にとろけるチーズのように崩れ落ちそのまま白目を剥いたまま眠るように倒れ込んだ

男はグッタリとした美佐子の筋肉質の硬いふくらはぎの片足を持ち

ズルズルと部屋に引つ張り込むとおもむろに雅やかに彩られた生け花を花瓶から引き抜くとその中の水をゴクンツと口に含みと、美佐子の顔を左手で鷲掴みにした花束で力一杯しばきながら右手で加速とスナツプの聞いた往復ビンタを力いっぱいかましながら一気に口に含んだ花瓶の水を美佐子の顔面に噴射させるのであった

「!!!!!!..な、何事!?!..わ、私どうしちゃったのかしら!?!..なんだか顔が熱い..何だか顔が痛い..こ、後頭部が全身が痛ああああー!いつ!?!村上さん私どうしちゃったのかしらああ!?!?」

「どうもしませんよ美佐子さん」

「なぜ私の顔が濡れているの?」

「思春期なんですよきつと..」

「?????!?!?!フスマが破れてる!」

「そう言った季節なんですよきつと..」

「.....え?.....」

ズボンを脱ぎながら

「僕の夢はね美佐子、世界中の女性達を悦ばすことなんだ」

パンツの中に花束を突っ込みながら

「どうすれば世界中の女性達を悦ばすことができるんだろうか、ねえ美佐子?..僕はそのアイデアをインターネットの掲示板を通して世の男性陣に問いかけてみたい!そして聞かせて欲しい!教えて欲しい!そして世界の全ての女性に僕のこの煮えたぎった熱い熱いバイブレーションを与えてあげたい!神様あああつつ!..あああ神様!神様!神様!神様!神様ああああああつつ!!!!!!..

..はあ..はあ..はあ..この迷える子羊に世界中の女性達とチヨメチヨメ出来るチヨメチヨメ免罪符を与えたまえええええええつつつ!..美佐子さん、お見合いの席で初対面の人にこんなことを言うのは寿司喰いに行つてカーネル・サンダースおじさんが鼻の穴に鉄火巻きを突っ込んだまま大ト口をいやいや握り、そ

の大トロをカクテルシェイカーにぶち込みカクテルシェイクしながらうまい具合にシェイク出来ずカウンター左から3番目のイクラを食べようとしている寸前の客の眉間にアナゴを思い切り投げつけるようなことかもしれないが、これが・・これが僕が幼いときからずっと抱いてきた夢なんです！世界を我の手に！世界を我の手にいいいいいいつつつ！！！！！！」

「素敵・・素敵すぎるわ村上さん！私は今、あなた自身が自信に満ちあふれた一本モノの本マグロに見えますわ！あなたは私が今まで見たこともないようなあくまでも清らかな、そして果てしなく美しくすぎる憎たらしまでの壮大な夢と希望と理想を・・あ・・ああ・・あああああああつつつ！！・・・え・・え・・え・・え・・エルニイイー二ヨオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオーーーーツツツツツツ！！！！！！！」

バチンッ！ビタンッ！バゴンッ！ドゴオンッ！ドッガアアアー——ンッ！

村上の半笑い往復ビンタ！エルボー！ラリアート！ブレーンバスタ
！！

「はあ、はあ、はあ・・を、お持ちの限りなくロマンティックな志をお持ちのお方ですわあああつ・・」

「キスしてもいいかい？美佐子・そして今！たった今！お前を悦ばせてもよいかい？このテーブルの上で今ああああつつつ！！！」

「勿論ですとも村・友春！今！たった今！このテーブルの上で今！今！今！私めを悦ばせて下さいませえええええええええええつつつつ！！！！！」

その後この二人がめでたくゴールインしたかどうかは誰も知るよしもない・・・てか、知りたくもない・・・

END

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8228b/>

エキセントリックお見合い

2010年10月21日21時23分発行